

**川重冷熱工業株式会社**

大阪本社 Tel. 06-6325-0300 www.khi.co.jp/corp/kte/


**2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）**

 2020年8月3日  
 上場取引所 東

上場会社名 川重冷熱工業株式会社  
 コード番号 6414 URL <https://www.khi.co.jp/corp/kte/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠原 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画室長 (氏名) 螺澤 雅人 TEL 06-6325-0300  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

## (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,208	8.5	70	—	72	—	44	—
2020年3月期第1四半期	3,879	10.5	△145	—	△145	—	△91	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.28	—
2020年3月期第1四半期	△10.87	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	%
2021年3月期第1四半期	14,645	5,834	39.8	695.55
2020年3月期	14,370	5,888	41.0	702.01

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,834百万円 2020年3月期 5,888百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

## 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△3.2	100	△70.7	100	△70.4	50	△80.0	5.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 業績予想につきましては、本日 (2020年8月3日) 公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,415,000株	2020年3月期	8,415,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	27,486株	2020年3月期	27,436株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,387,548株	2020年3月期1Q	8,387,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済情勢・競合状況や不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、2020年に入り新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響が広がり、4月には政府緊急事態宣言の発令により、経済活動が大きく制限される異例の事態となりました。緊急事態宣言解除後は段階的に制限が解除されていますが、感染第2波も懸念され先行きは予断を許さない状況です。世界経済においても、各国政府が感染拡大防止策としてロックダウン等の強力な経済活動抑制策をとった影響で一時的に危機的な状況となりました。各国の抑制策は解除されつつあるものの、依然として感染収束の目途は立っておりません。また、激化する米中対立等、流動的な国際情勢に注意を払う必要があります。

当社を取り巻く事業環境としては、熱源設備（吸収冷温水機・ボイラ）の需要は、昨年度後半から景気後退局面に入っていたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響等による設備投資の冷え込みが懸念されます。保守点検・改修改造工事（以下、メンテナンス工事）においては、すでに影響が生じており機器本体の受注についても今後影響が顕在化してくるものと思われまます。

このような事業環境の下、当第1四半期累計期間における受注高は、前年同期比9億11百万円増加の78億79百万円、売上高は、前年同期比3億28百万円増加の42億8百万円となりました。

セグメント別には次のとおりです。

空調事業では、受注高は、当第1四半期累計期間において大口付帯設備工事案件や長期保守契約の受注が一時的に集中したことにより、前年同期比6億1百万円増加の58億93百万円となりました。売上高は、前事業年度受注の付帯設備工事案件の売上が増加したこと等により、前年同期比2億33百万円増加の29億23百万円となりました。

ボイラ事業では、受注高は、機器本体が低調な推移であった前年同期と比べ、貫流ボイラの受注台数が増加し、前年同期比3億9百万円増加の19億86百万円となりました。売上高は、前年同期に比べメンテナンス工事が減少したものの、大型排熱ボイラ機器案件の売上があったこと等により、前年同期比94百万円増加の12億84百万円となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、営業利益は、前年同期比2億15百万円好転の70百万円、経常利益は、前年同期比2億18百万円好転の72百万円となりました。四半期純利益は、前年同期比1億35百万円好転の44百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は146億45百万円となり、前事業年度末に比べ2億75百万円増加いたしました。主な増加は、仕掛品であり、主な減少は、有形固定資産であります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は88億11百万円となり、前事業年度末に比べ3億29百万円増加いたしました。主な増加は、仕入債務であり、主な減少は、賞与引当金であります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は58億34百万円となり、前事業年度末に比べ54百万円減少いたしました。この主な要因は、四半期純利益が44百万円となったものの、前事業年度にかかる配当金1億円の支払いにより利益剰余金が減少したことです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

空調事業・ボイラ事業ともに、経済状況の悪化による設備投資の冷え込みや、緊急事態宣言下において事業活動が制限されたこと等により、業績への影響が見込まれます。このような状況下、経費削減や投資計画の見直し等により改善に取り組んでまいりますが、前期に比べて減収減益となる見通しであります。

通期の業績につきましては、売上高170億円、営業利益1億円、経常利益1億円、当期純利益50百万円と予想し公表いたしました。詳細につきましては、2020年8月3日発表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想値は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,771	11,756
受取手形及び売掛金	5,996,868	6,044,870
仕掛品	1,691,894	1,900,890
原材料及び貯蔵品	500,895	528,486
短期貸付金	1,810,224	1,782,451
その他	91,444	151,313
貸倒引当金	△3,583	△5,220
流動資産合計	10,093,515	10,414,548
固定資産		
有形固定資産	2,386,792	2,355,891
無形固定資産	292,411	277,321
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,363,135	1,362,186
その他	237,269	238,999
貸倒引当金	△2,916	△3,279
投資その他の資産合計	1,597,488	1,597,906
固定資産合計	4,276,692	4,231,118
資産合計	14,370,207	14,645,667
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,547,862	1,684,013
電子記録債務	1,627,214	1,765,312
未払法人税等	44,227	44,621
賞与引当金	329,000	183,000
受注損失引当金	352,511	340,726
製品保証引当金	98,757	84,942
その他	1,007,683	1,176,366
流動負債合計	5,007,256	5,278,982
固定負債		
退職給付引当金	3,461,536	3,518,866
製品保証引当金	7,400	8,000
資産除去債務	5,810	5,810
固定負債合計	3,474,746	3,532,676
負債合計	8,482,002	8,811,659
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,460,500	1,460,500
資本剰余金	1,228,500	1,228,500
利益剰余金	3,188,121	3,131,836
自己株式	△26,293	△26,373
株主資本合計	5,850,827	5,794,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,377	39,545
評価・換算差額等合計	37,377	39,545
純資産合計	5,888,204	5,834,007
負債純資産合計	14,370,207	14,645,667

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	3,879,712	4,208,091
売上原価	2,879,508	3,104,395
売上総利益	1,000,203	1,103,696
販売費及び一般管理費	1,145,745	1,033,516
営業利益又は営業損失（△）	△145,541	70,179
営業外収益		
受取利息	1,056	966
受取配当金	801	958
貸倒引当金戻入額	55	88
助成金収入	—	1,140
その他	523	391
営業外収益合計	2,437	3,545
営業外費用		
支払利息	18	17
固定資産除却損	730	345
租税公課	600	263
事務所移転費用	405	—
その他	339	231
営業外費用合計	2,092	858
経常利益又は経常損失（△）	△145,196	72,866
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△145,196	72,866
法人税等	△54,000	28,500
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△91,196	44,366

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。